

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	教育実習事前・事後指導		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	1 - 4 年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	0
科目区分	教職科目-総合演習-教育実習		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	小林 基宏 (学内連絡教官 岡本 敏雄)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：この講義は今年度教育実習に参加する者に必修である。授業では、教育実習に入る学生を対象に、中学校・高等学校の実態に即しながら、教師としての心構えや勤務・サービス、学校教育組織や学校教育活動基本的事項、学習指導や生徒指導のあり方などの今日的な課題を取り上げ、教職実務の基本を学ぶ。(b) 達成目標：教職実務の基本を学び教育実習を遂行する能力を身につける。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>教職科目全般、特に数学教育指導法、理科(物理・化学など)教育指導法、情報教育指導法などを中心に復習し、教育関係法規についても基礎知識をつけておくこと。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>教科書：使用しない参考書：教育実習研究会編「要説 教育実習」(酒井書店)。</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

この授業では、教育実習に必要な教職の実務を中心とした講義を行います。対象とする主な項目は以下のとおりです。1 教職の理念と教育実習いま進められている教育改革の基本的理念と方向、新しい教育課程と学習指導要領、学校教育と教師 2 学校の組織と運営および教育活動学校の教育組織と運営組織、学校の教育活動と教師の職務 3 教育実習生としての心得、勤務、服務実習生の心構え、日々の勤務と実習、実習の目標と課題、教職員との連携・協力、生徒へ接し方 4 生徒理解と特別活動(と道徳)教科指導と生徒指導、生徒理解と生徒への接し方、学級・HR担任の仕事、クラブ活動や学校行事への参加、道徳の時間への取り組み(中学校) 5 学習指導・授業の実際教材研究、指導計画、学習指導案と授業の構成、教科書と補助教材、実験学習、授業の評価と改善、教育実習の評価の観点 6 教育実習をかえりみて?講義および実習報告発表会自己評価と反省の観点、今後の課題、教職への道、教育実習レポートのつくり方

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

詳細については、授業中に説明する。(a)評価方法教育実習成績・教育実習レポート成績に、出席点を考慮して総合的に評価する。学期末試験は行わない。(b)評価基準(1)教職の実務を理解し、教師としての心構えができている。(2)教育実習により教職の実務を経験し、教師としての能力・適性が認められる。(3)教職の重要性を認識し、使命感をもって職務を遂行する意欲がある。

【オフィスアワー：授業相談】

授業開始30分前から非常勤講師控室にて直接質問・相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

教育実習は教員免許状を取得し教職につくための必修科目である。教育実習によって、生涯忘れ得ないほどの感動を体験する学生も多い。この授業では、専門教科における教科指導法では学ぶことのできない内容を講義し、教育実習の成果を一層高めようとするものである。近年、教員採用試験・教職への道は難関になってきている。今、学校教育や教師に求められているものは何か、をしっかりと覚えて意欲的に取り組み、模範的な教育実習の成果を強く期待している。

【その他】